オリジナルの文面を作る(オリジナルはがき作成)

案内状など文章を自由に作成できます。背景にイラストや写真を入れたり、差出人を入れることができるフォーマットを使って作成していきます。

作業の流れ(オリジナルはがき作成)

作成方法には2通りの方法があります。目的に合わせてお選びください。

すべて新規に作成する

フォーマットを選ぶ (▶▶136ページ)

7種類のフォーマットの中から、作りたい文面に近いものを選んでください。

登録されている文例を利用しながら作成する

文例を選ぶ (▶▶136ページ)

「同窓会の案内」「ゴルフコンペの案内」など8種類の文例入りのフォーマットの中から、作りたい文面に近いものを選んでください。

内容を設定する (▶▶137ページ)

テキスト、背景、差出人などの内容を設定します。

- **テキストの設定**
- **差出人の設定**
- **背景の設定**

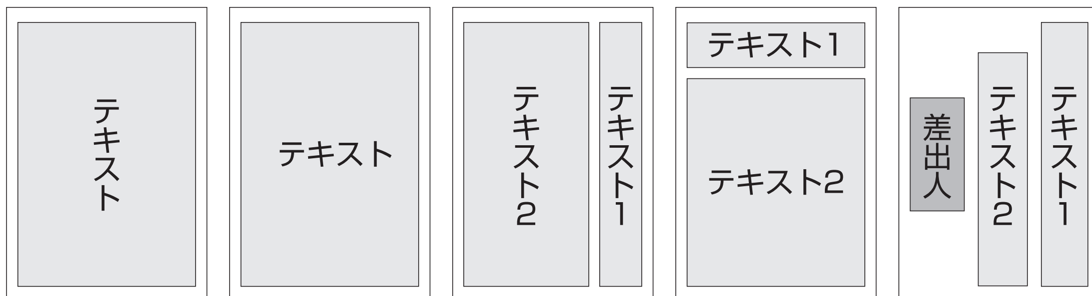
文面を印刷する (▶▶133ページ)

印刷する枚数、はがきの紙質、印字のタイプなど、印刷の条件を設定し、文面を印刷します。
操作方法については、組み合わせ作成と同様です。

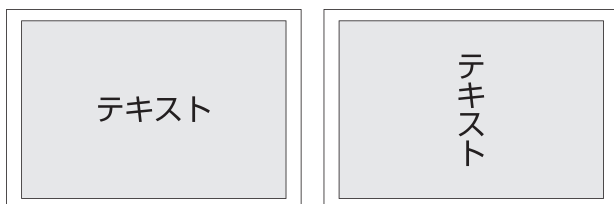
オリジナルはがき作成のフォーマット一覧

すべて新規に作成する場合は、次の7種類のフォーマットが使用できます。
目的に合わせてお好きなフォーマットを選んでください。

●縦置きのフォーマット



●横置きのフォーマット



※「テキスト」の文字の向きで「縦書き」か「横書き」かを表しています。

フォーマットを選ぶ(新規に作成する)

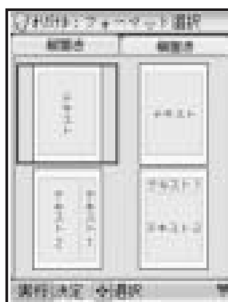
すべて新規に作成する場合は、次のように操作して作成画面を表示させます。

1 △▽＜＞でメニュー画面の「文面」を選び、実行を押します。

2 ＜＞で文面メニューから「オリジナルはがき作成」を選び、実行を押します。

3 △▽で「新規に作成する」を選び、実行を押します。

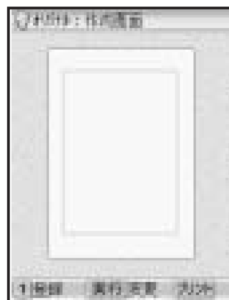
フォーマット選択画面が表示されます。



「フォーマット選択画面の操作について」
▶▶ 124ページ

4 △▽＜＞でフォーマットを選び、実行を押します。

作成画面が表示されます。



5 次ページ以降の操作を行って、テキストや差出人を入力してください。

印刷するときは、133ページを参照してください。

登録されている文例を利用しながら作成する(文例を参照する)

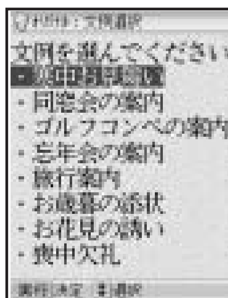
内蔵されている文例を利用しながら作成する場合は、次のように操作して作成画面を表示させます。
文例の内容は、別冊の「デザインカタログ」を参照してください。

1 △▽＜＞でメニュー画面の「文面」を選び、実行を押します。

2 ＜＞で文面メニューから「オリジナルはがき作成」を選び、実行を押します。

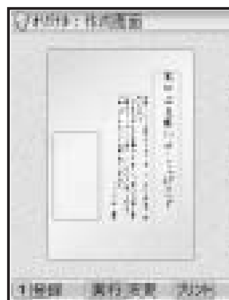
3 △▽で「文例を参照する」を選び、実行を押します。

文例選択画面が表示されます。



4 △▽で文例を選び、実行を押します。

文例が呼び出されて、作成画面が表示されます。



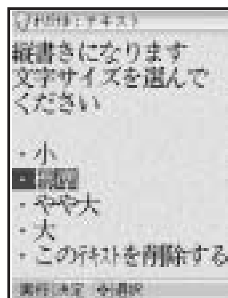
5 次ページ以降の操作を行って、テキストや差出人を入力してください。

印刷するときは、133ページを参照してください。

テキストを入力する

1 **作成画面から△▽＜＞で入力したいテキストの枠を選び、実行を押します。**

テキストを入力する枠は水色で表示されています。



2 **△▽で文字の大きさを選び、実行を押します。**

- 文例を参照して作成している場合など、すでに文字サイズが指定されている場合は、その文字サイズが反転します。ここで他の文字サイズを選ぶと、入力済みのテキストの一部が消えることがあります。
- 小/標準/やや大/大の4種類が選べます。
- 「このテキストを削除する」を選ぶと、入力済みの文字が削除されます。

3 **組み合わせ作成時と同様にして、テキストを入力します。**

「文章を決める」 ▶▶ 128ページ 3 以降の操作

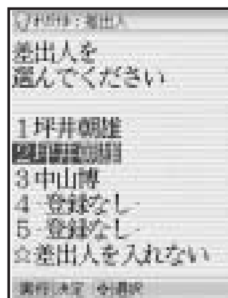
差出人を入力する

1 **作成画面から △▽＜＞で入力したい差出人の枠を選び、実行を押します。**

差出人を入力する枠は桃色で表示されています。

2 **△▽で「差出人の変更」を選び、実行を押します。**

- 「QRコードの設定」を選ぶと、差出人枠の中にQRコードを印刷することができます。



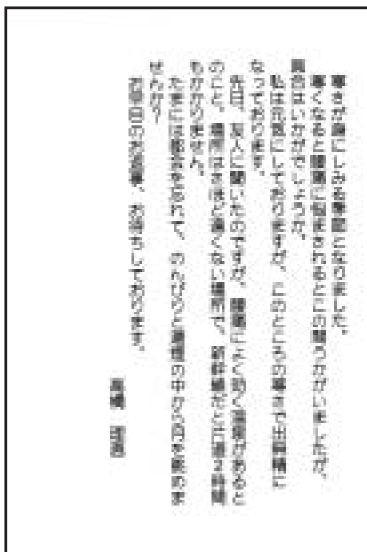
「差出人情報をQRコードとして印刷する」
▶▶ 144ページ

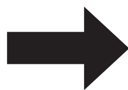
3 **組み合わせ作成時と同様にして、差出人を入力します。**

「差出人を決める」 ▶▶ 131ページ 3 以降の操作

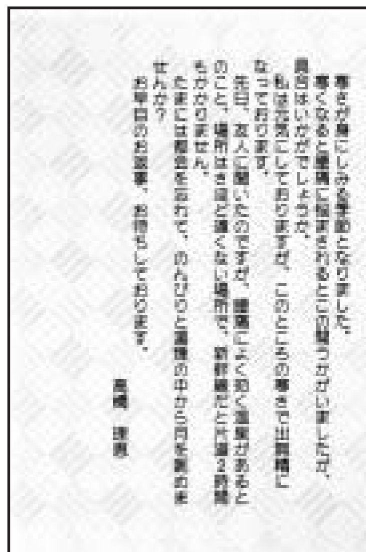
イラスト背景を入れる

背景なし





背景あり



1 **作成画面から[∧][∨][＜][＞]で背景の枠を選び、[実 行]を押します。**

背景を入れる枠は赤色で表示されています。

2 **[∧][∨]で「イラストの背景を選ぶ」を選び、[実 行]を押します。**

背景の選択画面になります。

3 **[∧][∨][＜][＞]で背景を選び、[実 行]を押します。**

背景が入り、入力画面に戻ります。

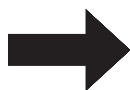
- 10種類の背景を選ぶことができます。
- 「背景をつけない」では、背景は入りません。

背景として写真を入れる

背景として写真を入れることができます。写真の色はカラーはもちろん白黒やセピアに変えることができます。また、写真を薄く印刷することもできるので、写真の上に文字を入れたい場合などに便利です。

背景なし





背景あり



1 **背景として使いたい写真が保存されているメモリーカードをセットします。**

2 **作成画面から ∧∨＜＞ で背景の枠を選び、実 行 を押します。**

背景を入れる枠は赤色で表示されています。

3 **∧ ∨ で「写真を背景にする」を選び、実 行 を押します。**

メモリーカード内の写真の一覧が表示されます。



4 **∧∨＜＞ で背景にしたい写真を選び、実 行 を押します。**

5 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順 6 に進みます。

「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 117ページ

6 **実 行 を押します。**

写真が入り、作成画面に戻ります。

●写真の色を変更したり、背景を薄く印刷したいとき

① 6の操作後 ∧∨＜＞ で背景の枠を選び、実 行 を押します。

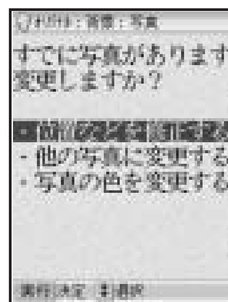
② ∧∨ で「写真を背景にする」を選び、実 行 を押します。

③ ∧∨ で「写真の色を変更する」を選び、実 行 を押します。

以後の操作は、119ページ「写真の色や濃さを変える」を参照してください。

●すでに背景として写真が入っているとき

すでに写真が入っているときは、次の画面が表示されます。



この場合は、目的に応じて、∧∨ で使いたい機能を選び、実 行 を押してください。

- 位置などを修正する ･･･ 「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」 ▶▶ 117ページ
- 他の写真に変更する ･･･ 「背景として写真を入れる」と同様に操作します。
- 写真の色を変更する ･･･ 「写真の色や濃さを変える」 ▶▶ 119ページ

文面の登録と呼び出し

完成した文面や作成途中の文面を、本体に3個・メモリーカードに4個まで登録できます。登録した文面は、あとから呼び出して、内容を修正したり印刷したりできます。

本体とメモリーカードでは、登録時に次の内容が異なります。

- 本体には、写真データは登録されない(同じ写真データをご使用になる場合は、写真データをメモリーカードから消さないようにご注意ください)。

文面を登録する

組み合わせ作成・オリジナルはがき作成では、文面に何もデータがない場合は登録できません。
また、差出人・外字の内容は登録できません。

1 **メモリーカードに登録する場合は、メモリーカードをセットします。**

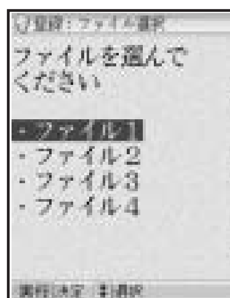
「メモリーカードをセットする」 ▶▶21ページ

2 **カンタン作成の完成画面、または組み合わせ作成・オリジナルはがき作成の作成画面で、[1](登録)を押します。**

3 **[∧][∨]で登録する場所を選び、[実 行]を押します。**

ファイル選択の画面が表示されます。

メモリーカード選択時　本体選択時





4 **登録先のファイルを指定します。**

- メモリーカード選択時
  [∧][∨]で登録先のファイルを選び、[実 行]を押します。
  すでに登録済みの文面があるときは、ファイル名の先頭に○が付きます。
- 本体選択時
  [<][>]で登録先のファイルを選び、[実 行]を押します。

文面が登録され、元の画面に戻ります。

すでに文面が登録されているファイルを選んだ場合は、新しい文面に書き換えるかどうか確認するメッセージが表示されます。

登録した文面を呼び出す

1 **メモリーカードから呼び出す場合は、文面を登録したメモリーカードをセットします。**

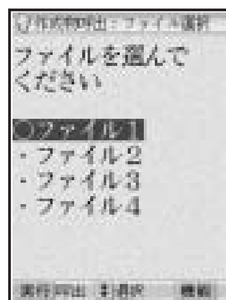
2 **∧∨<>でメニュー画面から「文面」を選び、実行を押します。**

3 **∧∨<>で文面メニューから「作成物呼出」を選び、実行を押します。**

4 **∧∨で「メモリーカード」または「本体」を選び、実行を押します。**

ファイル選択の画面が表示されます（メモリーカード登録時は、登録済みのファイルには、ファイル名の先頭に○が付いています）。

メモリーカード選択時　本体選択時





5 **呼び出すファイルを指定します。**

- メモリーカード選択時
  ∧∨で呼び出すファイルを選び、実行を押します。
- 本体選択時
  <>で呼び出すファイルを選び、実行を押します。

本体に登録した写真入りデザインの文面を呼び出しても写真は表示されませんので、使いたい写真データを入れなおしてください。

- 差出人の内容は登録されていません。このため、文面を登録後、本体の差出人を変更した場合は、呼び出し時に差出人の内容が変わります。
- 外字の内容は登録されません。文面呼び出し時は、外字の内容を確認することをおすすめします。

登録した文面を削除する

1 メモリーカードに登録した文面を削除する場合は、文面を登録したメモリーカードをセットします。

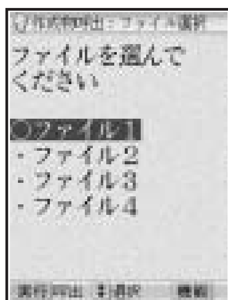
2 ∧∨＜＞でメニュー画面から「文面」を選び、実行を押します。

3 ∧∨＜＞で文面メニューから「作成物呼出」を選び、実行を押します。

4 ∧∨で「メモリーカード」または「本体」を選び、実行を押します。

ファイル選択の画面が表示されます。

メモリーカード選択時　本体選択時





5 削除するファイルを指定します。

- メモリーカード選択時
  ∧∨で削除するファイルを選び、機能を押します。
  ∧∨で「データの削除」を選び、実行を押します。
  ＜＞で「はい」を選んで、実行を押します。
- 本体選択時
  ＜＞で呼び出すファイルを選び、削除を押します。
  ＜＞で「はい」を選んで、実行を押します。

ファイル名を変更する

メモリーカードに登録した内容のファイル名を分かりやすい名前に変更することができます。

1 文面を登録したメモリーカードをセットします。

2 ∧∨＜＞でメニュー画面から「文面」を選び、実行を押します。

3 ∧∨＜＞で文面メニューから「作成物呼出」を選び、実行を押します。

4 ∧∨で「メモリーカード」を選び、実行を押します。

ファイル選択の画面が表示されます。

5 ∧∨で名称を変更したいファイルを選び、機能を押します。

6 ∧∨で「ファイル名の修正」を選び、実行を押します。

7 削除を何回か押して、現在のファイル名を削除します。

8 新しいファイル名を入力して実行を押します。

9 ＜＞で「はい」を選び、実行を押します。

ファイル名の選択画面に戻ります。
ファイル名自体は、本体に記憶され、メモリーカードには登録されません。

差出人について

文面に入れる差出人は、宛名に印刷する差出人と共通で使用します。差出人の登録、修正、削除は宛名メニューからでも文面メニューからでも行えます。ここでは、文面メニューからの登録手順を説明します。差出人についての詳しい操作は、下記のページを参照してください。

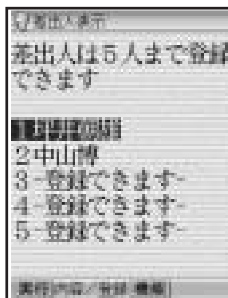
「差出人を登録する」▶▶ 81ページ
「差出人の登録内容を確認する」▶▶ 85ページ
「差出人を複写する」▶▶ 86ページ
「差出人を修正する」▶▶ 87ページ
「差出人を削除する」▶▶ 88ページ

差出人の登録

1 **[∧][∨][＜][＞]でメニュー画面から「文面」を選び、[実 行]を押します。**

2 **[∧][∨][＜][＞]で文面メニューから「差出人登録」を選び、[実 行]を押します。**

差出人表示になります。登録方法については、「差出人を登録する」(81ページ)を参照してください。



差出人情報をQRコードとして印刷する

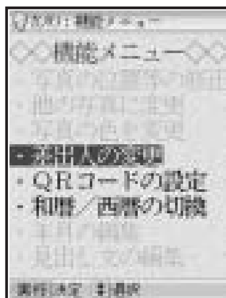
QRコードを文面の差出人部分に印刷することができます。
QRコードにできるのは、差出人の名前、電話番号、メールアドレスです。


QR コード

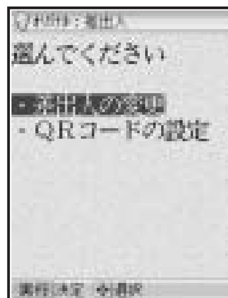
- QRコードは、NTT DoCoMo社の携帯電話の電話帳登録機能に対応した形式で作成されています。その他の通信事業社の携帯電話では、電話帳への登録ができないことがあります。
- QRコードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

1 カンタン作成の場合は、完成画面から[機能]を、組み合わせ作成・オリジナルはがき作成の場合は、作成画面で差出人の枠を選んで、[実行]を押します。

カンタン作成



組み合わせ作成／オリジナルはがき作成



2 [∧][∨]で「QRコードの設定」を選び、[実行]を押します。

3 [<][>]で「する」を選んで、[実行]を押します。

- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 印刷したQRコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。
- 携帯電話に登録するときには、差出人のふりがなをご自分で入力してください。
- QRコードを印刷する場合には、「インクジェット紙」または「インクジェット紙　光沢」の官製はがきをご利用ください。
  インクジェット対応として市販されている私製はがきでも、インクがにじむ用紙があり、QRコードの印刷に適さないものがあります。

● QR コードに登録可能な文字

- 名前
  JISコード部分（JIS X0208）を登録します。
  JIS外の漢字・外字・カシオオリジナル記号は登録できません。
- 電話番号
  0～9までを登録します。
  電話マークや（代）（直）などの記号は登録できません。
- メールアドレス
  0～9/A～Z/a～z/！＆（），-＿．/：？＠を登録します。
  空白は登録しません。

  登録できない文字は無視され、後ろの文字が詰められます。

MEMO

第 6 章

デジタル写真の印刷

印刷の種類

デジタル写真プリントでは、デジタルカメラで撮った写真で次のような印刷ができます。

●選んでプリント



L判（フチなし、日付あり）


L判（フチあり）

次のような設定ができます。
・フチあり/なし
・日付あり/なし
・カラー/白黒/セピア

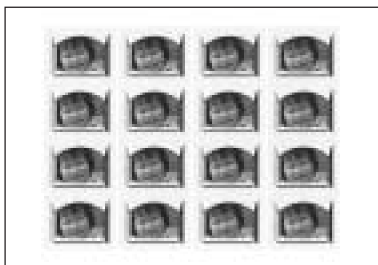
●インデックスプリント



●コメントプリント



●シールプリント



●その他
・DPOFプリントができます。

選んで印刷する（選んでプリント）

メモリーカードの中から好きな写真を選んで印刷（選んでプリント）できます。

1 **写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 **∧∨＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。**

3 **∧∨＜＞で「選んでプリント」を選び、実行を押します。**

写真の一覧（サムネイル）が表示されます。

※デジタルカメラで表示される順番とは異なる順で表示されることがあります。
※サムネイルが何らかの理由で表示できない場合は、アイコンが表示されます。サムネイルが表示されなくても、プレビューで写真が表示されている場合は、印刷できます。
※写真が1000枚以上ある場合は、すべての写真を取り込むことができません（最大で999枚まで）。
※動画は表示されません。

4 **∧∨＜＞で印刷したい写真を選び、実行を押します。**

印刷の枚数を設定できるようになります。

写真の番号を入力して選ぶこともできます。



5 **数字キーまたは＜＞で枚数を指定し、実行を押します。**

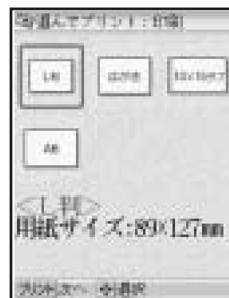
プレビュー/プリントを押す前にシフト/かな小 プレビュー/プリントを押すと、仕上がりのイメージが確認できます。はっきりズームを押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、取消しを押してください。

枚数は、1枚の写真につき99枚まで設定できます。

ほかの写真に枚数を設定する場合は、手順**4**から**5**を繰り返してください。

6 **プレビュー/プリントを押します。**

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます



7 **＜＞で用紙サイズを選び、プレビュー/プリントを押します。**

印刷設定の画面が表示されます。

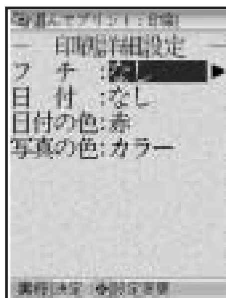


8 ⋀⋁で設定する項目を選びます。

9 ＜＞で設定する内容を選びます。

10 機能を押します。

印刷詳細設定の画面が表示されます。
設定を変更する必要がなければ、そのまま手順13に進みます。



11 ⋀⋁で設定する項目を選びます。

12 ＜＞で設定する内容を選びます。

13 すべての設定が終わったら実行を押します。

印刷設定画面に戻ります。

14 プレビュー/プリントを押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

● 印刷設定画面の設定項目(選んでプリント)

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判、はがき、10×15タブ、A6から選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶25ページ
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。
フチ	フチがない印刷かフチがある印刷かを設定します。 なし：フチがない写真を印刷します。 あり：フチがある写真を印刷します。 ※「あり」で印刷すると、写真(画像)のすべての範囲が印刷されます。
日付	撮影の日付のあり/なしを設定します。 なし：日付を印刷しません。 あり：日付を印刷します。 ※データ自体に日付に関する情報がない場合は、日付を印刷することはできません。
日付の色	日付の色を設定します。 ＞を押すたびに、赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白→黒の順で切り換わります。 ＜を押すと、逆の順序に切り換わります。
写真の色	写真の色を設定します。 ＞を押すたびに、カラー→白黒→セピアの順で切り換わります。 ＜を押すと、逆の順序に切り換わります。

15 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

16 実 行 を押します。

写真の印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重 要
- 印刷を中止するときは、取消し を押します。
- 「フチなし」で印刷すると、写真の一部が切れることがあります。

17 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

すべての写真を同じ枚数印刷するとき

印刷する枚数をすべての写真に一括で設定することもできます。

① **写真の一覧が表示されている画面で、機能 を押します。**
枚数一括指定画面が表示されます。

② **＜ ＞ で枚数を指定し、実 行 を押します。**
すべての写真の枚数に、指定した枚数が設定されます。

印刷枚数の設定について

印刷する枚数の設定は、数字キーで直接数字を入力する設定のしかたもあります。数字は必ず2桁で入力してください。

例 8枚のとき：0 8

一覧を印刷する(インデックスプリント)

デジタル写真プリントでは、写真の一覧を印刷(インデックスプリント)できます。

1 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 ∧∨<>でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。

3 ∧∨<>で「インデックスプリント」を選び、実行を押します。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。

4 <>で用紙サイズを選び、プレビュープリントを押します。

印刷設定の画面が表示されます。

5 ∧∨で設定する項目を選びます。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 153ページ

6 <>で設定する内容を選びます。

※インデックスプリントでは、「フチ」、「日付」、「写真の色」の設定は行えません。

7 設定が終わったらプレビュープリントを押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

8 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

9 実行を押します。

インデックスプリントの印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重要 印刷を中止するときは、取消しを押します。

10 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

● 印刷設定画面の設定項目(インデックスプリント)

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判、はがき、10×15タブ、A6から選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶ 25ページ
写真番号	写真番号をつける/つけないを設定します。 つける：写真番号をつけて印刷します。 つけない：写真番号をつけないで印刷します。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙；写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通；通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりは劣りますが、印刷の時間は短くなります。

デジタルカメラの設定にしたがって印刷する(DPOF印刷)

DPOF(Digital Print Order Format)対応のデジタルカメラなどでは、DPOF機能によりカメラ側で印刷する写真や、印刷する枚数の指定ができます。

●扱える写真のデータ

本機のDPOF機能で印刷できる写真は、DPOF対応デジタルカメラなどで撮影した写真で以下の条件を満たすものです。

(1) 静止画(DCF Exif2.1、JPEG準拠)
(2) 対応ファイルサイズ　6MB以下
(3) 最小画素数　160 × 120 ピクセル

●DPOF機能で有効な設定

デジタルカメラや携帯電話で設定した以下の内容

・通常印刷(用紙に写真を一枚印刷)する写真の指定
・印刷枚数
・日付印刷の設定(本機側から文字色の指定ができます)。

重要　デジタルカメラ側の設定方法や、設定できる機能は、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

※DPOFで写真をコメントプリントやシールプリントすることはできません。
※写真のトリミング・回転などをデジタルカメラや携帯電話で設定していても、DPOF印刷時は無効になります。
※印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。

1 デジタルカメラのDPOF機能で印刷する画像を指定しておきます。

2 写真が保存してあるメモリーカードをセットします。

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

3 ∧∨＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実 行を押します。



4 ∧∨＜＞で「DPOFプリント」を選び、実 行を押します。

用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。



5 ＜＞で用紙サイズを選び、プレビュー/プリントを押します。

印刷設定の画面が表示されます。



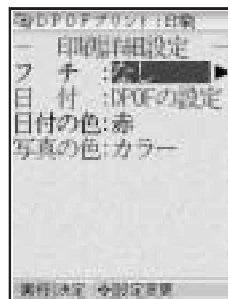
6 ∧∨で設定する項目を選びます。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 156ページ

7 ＜＞で設定する内容を選びます。

8 機能を押します。

印刷詳細設定の画面が表示されます。
設定の変更の必要がなければ、実 行を押して、手順12に進みます。
※ここでは「フチのあり/なし」と「日付の色」が変更できます。



9 ∧∨で設定する項目を選びます。

10 ＜＞で設定する内容を選びます。

「印刷設定画面の設定項目」
▶▶ 156ページ

11 すべての設定が終わったら実 行を押します。

印刷設定画面に戻ります。

12 プレビュー/プリントを押します。

用紙セットのメッセージが表示されます。

13 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、「用紙サイズ」で選んだ用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

14 実 行を押します。

DPOFプリントの印刷が始まります。印刷が終了すると、デジタル写真メニューの画面に戻ります。

重要
- 印刷を中止するときは、取消しを押します。
- 「フチなし」で印刷すると、写真の一部が切れることがあります。

15 **印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。**

● 印刷設定画面の設定項目(DPOFプリント)

設定項目	設定内容
用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを設定します。 L判、10×15タブ、はがき、A6から選びます。 「使用できる用紙」 ▶▶ 25ページ
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙；写真印刷用の用紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するとき選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通；通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりは劣りますが、印刷の時間は短くなります。
フチ	フチがない印刷かフチがある印刷かを設定します。 なし：フチがない写真を印刷します。 あり：フチがある写真を印刷します。 ※「あり」で印刷すると、写真(画像)のすべての範囲が印刷されます。
日付	撮影の日付のあり/なしは、「DPOFの設定」に設定され、常にデジタルカメラ側での設定内容に従います。
日付の色	日付の色を設定します。 [>]を押すたびに、赤→緑→青→桃色→空色→灰色→白→黒の順で切り換わります。 [<]を押すと、逆の順序に切り換わります。
写真の色	写真の色は「カラー」固定になります。

写真に文字を入れて印刷する(コメントプリント)

デジタル写真プリントでは、写真に文字を合成して印刷することができます。

1 **写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 **∧∨＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。**

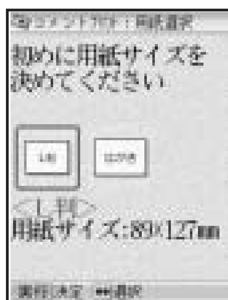


3 **∧∨＜＞で「コメントプリント」を選び、実行を押します。**

4 **∧∨で「新規に作成する」を選び、実行を押します。**

- メモリーカードに登録済みのデータを呼び出すときは、メモリーカードをセットして「作成物を呼び出す」を選びます。
- 用紙サイズを選ぶ画面が表示されます。

※用紙サイズは「L判」と「はがき」の2種類のみとなります。



5 **＜＞で用紙サイズを選び、実行を押します。**

写真の一覧が表示されます。

6 **∧∨＜＞で写真を選び、実行を押します。**



7 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順**8**に進みます。

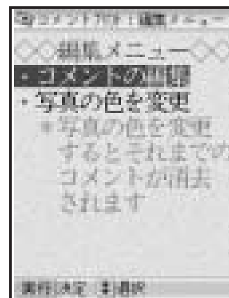
「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 117ページ

8 **実行を押します。**

完成画面が表示されます。



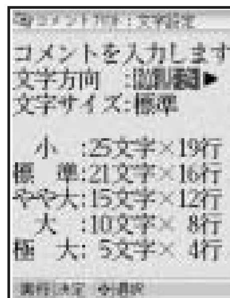
9 **2(編集)を押します。**



10 ∧∨で「コメントの編集」を選び、[実行]を押します。

11 ∧∨で入力するコメントの番号を選び、[実行]を押します。

- コメントは3ヵ所まで入力することができます。
- 文字の方向とサイズを設定する画面が表示されます。



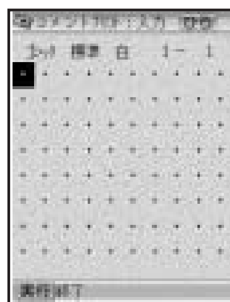
12 ∧∨で設定する項目を選びます。

13 ＜＞で設定する内容を選びます。

「文字設定の設定項目」
▶▶ 160ページ

14 設定が終わったら[実行]を押します。

文字入力の画面が表示されます。



15 文字を入力します。

「文字の入力」
▶▶ 35ページ

16 入力が終わったら、[実行]を押します。

入力の終了を確認する画面が表示されます。

17 ＜で「はい」を選び、[実行]を押します。

入力した文字の位置を設定する画面が表示されます。

青色の枠が文字の位置で、△が文字の向きを表しています。

18 操作ガイドにしたがって文字の向き、位置を調整します。

調整する必要がなければそのまま手順19に進みます。

※コメントを端に配置すると印刷時に切れることがあります。コメントは少し内側に配置するようにしてください。

19 文字の位置を確認して、[実行]を押します。

- **2ヵ所以上コメントを入力したい・コメントを再編集したいとき**

  [2]（編集）を押した後、「コメントの編集」を選び、11以降の操作を繰り返してください。



- **写真の色や濃さを調整したいとき**

  [2]（編集）を押した後、「写真の色を変更」を選び、指定してください。

  「写真の色や濃さを変える」
  ▶▶ 119ページ

[シフト かな小][プレビュー プリント]を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。[はっきりズーム]を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、[取消し]を押してください。

20 すべてのコメントの入力が終わったら、[プレビュー プリント]を押します。

印刷設定の画面が表示されます。

21 印刷する部数／紙質／印字タイプを設定して、[プレビュー プリント]を押します。

「印刷設定画面の設定項目」

▶▶ 160ページ

※「フチ」、「日付」、「写真の色」の設定は行えません。

22 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

印刷枚数を確認して、用紙をセットしてください。

「用紙のセットのしかた」

▶▶ 25ページ

23 [実 行]を押します。

コメントプリントが始まります。印刷が終了すると、完成画面に戻ります。

重 要 ・印刷を中止するときは、[取消し]を押します。

24 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

入力したコメントを修正する

① コメントプリントの編集メニュー（157ページの手順 **9** の状態）から、[∧][∨]で「コメントの編集」を選び、[実 行]を押します。

② [∧][∨]で修正したいコメントの番号を選び、[実 行]を押します。

③ 入力時と同様に、設定や文字入力をしていきます（158ページの手順 **12** 以降の操作）

●文字設定の設定項目(コメントプリント)

設定項目	設定内容
文字方向	「縦書き」か「横書き」を指定します。
文字サイズ	コメントの文字サイズを指定します。サイズによって入力できる文字数と行数が決まります。 ・L判の場合 小　：25文字×19行 標準　：21文字×16行 やや大：15文字×12行 大　：10文字×8行 極大　：5文字×4行 ・はがきの場合 小　：28文字×22行 標準　：23文字×18行 やや大：17文字×14行 大　：11文字×9行 極大　：5文字×4行

●印刷設定画面の設定項目(コメントプリント)

設定項目	設定内容
用紙サイズ	L判、はがきから選んだ用紙のサイズが表示されます。 「使用できる用紙」 ▶▶25ページ
部数	印刷する枚数を設定します。 設定可能部数：0〜99 数字キーで直接枚数を設定することもできます。数字は必ず2桁で入力してください。
紙質	印刷する紙の種類を設定します。 フォト光沢紙：写真印刷用の紙に印刷するときに選びます。 インクジェット紙：インクジェット用の用紙に印刷するときに選びます。 普通紙：インクジェット紙やフォト光沢紙以外の普通の用紙に印刷するときに選びます。
印字タイプ	印刷の速さと仕上がり(印字品質)を設定します。 普通：通常の仕上がりになります。 高精細：「普通」よりも印刷の時間がかかりますが、きれいに仕上がります。 高速：「普通」よりも仕上がりが劣りますが、印刷の時間は短くなります。

重要　コメントプリントで印刷できる写真の容量は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ(大きさを変える)などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

コメントプリントのデータを登録する

コメントプリントのデータをメモリーカードに4件まで登録することができます(本体には登録できません)。
1件あたり約3M Byteのデータをメモリーカードに登録します。また、外字の内容は登録できません。

1 **メモリーカードをセットします。**
「メモリーカードをセットする」 ▶▶ 21ページ

2 **コメントプリントの完成画面で、[1](登録)を押します。**
ファイル選択画面が表示されます。

3 **[△][▽]で登録先のファイルを選び、[実行]を押します。**
すでに登録済みのデータがあるときは、ファイル名の先頭に○が付きます。

コメントプリントの内容が登録され、元の画面に戻ります。

登録したコメントプリントのデータを呼び出す

1 **データを登録したメモリーカードをセットします。**

2 **[△][▽][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実行]を押します。**

3 **[△][▽][<][>]で「コメントプリント」を選び、[実行]を押します。**

4 **[△][▽]で「作成物を呼び出す」を選び、[実行]を押します。**
ファイル選択の画面が表示されます(登録済みのファイルには、ファイル名の先頭に○が付いています)。

5 **[△][▽]で呼び出すファイルを選び、[実行]を押します。**
完成画面になり、指定したデータが呼び出されます。

- 外字の内容は登録されません。
  コメントプリントのデータ呼び出し時は、外字の内容を確認することをおすすめします。

登録したコメントプリントのデータを削除する

1 データを登録したメモリーカードをセットします。

2 ∧∨＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。

3 ∧∨＜＞で「コメントプリント」を選び、実行を押します。

4 ∧∨で「作成物を呼び出す」を選び、実行を押します。

ファイル選択の画面が表示されます(登録済みのファイルには、ファイル名の先頭に○が付いています)。

5 ∧∨で削除するファイルを選び、機能を押します。

6 ∧∨で「データの削除」を選び、実行を押します。

削除確認のメッセージが表示されます。

7 ＜＞を押して「はい」を選び、実行を押します。

指定したファイルが削除され、ファイル選択の画面に戻ります。

データを削除しても、ファイル名はそのまま残ります。

ファイル名を変更する

メモリーカードに登録したファイル名を分かりやすい名前に変更することができます。

1 データを登録したメモリーカードをセットします。

2 ∧∨＜＞でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、実行を押します。

3 ∧∨＜＞で「コメントプリント」を選び、実行を押します。

4 ∧∨で「作成物を呼び出す」を選び、実行を押します。

ファイル選択の画面が表示されます。

5 ∧∨で名称を変更したいファイルを選び、機能を押します。

6 ∧∨で「ファイル名の修正」を選び、実行を押します。

7 削除を何回か押して、現在のファイル名を削除します。

8 新しいファイル名を入力して、実行を押します。

9 ＜＞で「はい」を選び、実行を押します。

ファイル選択の画面に戻ります。

ファイル名自体は、本体に記憶され、メモリーカードには登録されません。

写真をシールに印刷する(シールプリント)

写真にフレームをつけてシールに印刷できます。

1 **写真が保存してあるメモリーカードをセットします。**

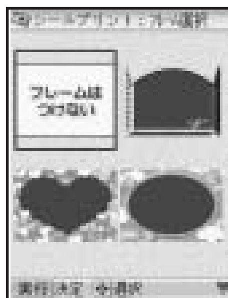
「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

2 **[△][▽][<][>]でメニュー画面から「デジタル写真プリント」を選び、[実 行]を押します。**



3 **[△][▽][<][>]で「シールプリント」を選び、[実 行]を押します。**

フレームの種類を選ぶ画面が表示されます。フレームは10種類選べます。



4 **[△][▽][<][>]でフレームを選び、[実 行]を押します。**

5 **[△][▽][<][>]で写真を選び、[実 行]を押します。**



6 **写真の範囲、向き、位置を調整します。**

調整する必要がなければそのまま手順**7**に進みます。
「写真の一部を切り抜いて文面に入れる」
▶▶ 117ページ

7 **[実 行]を押します。**

完成画面が表示されます。

[シフト かな小] [プレビュー プリント]を押すと、仕上がりのイメージが確認できます。[はっきりズーム]を押すと拡大プレビューができます。元に戻るときは、[取消し]を押してください。



8 **[機能]を押します。**

写真の色を選ぶ画面が表示されます。
変更する必要がなければ、そのまま手順**10**に進みます。

9 **[△][▽]で色を選び、[実 行]を押します。**

完成画面が表示されます。

10 **[プレビュー プリント]を押します。**

印刷設定の画面が表示されます。

11 **印字タイプを設定して、[プレビュー プリント]を押します。**

「用紙サイズ：シール紙」「部数：01部」「紙質：フォト光沢用紙」固定になります。

12 用紙をセットして、排紙トレイを引き出します。

1枚だけシール紙を光沢面を表側にしてセットしてください。

「用紙のセットのしかた」
▶▶ 25ページ

重要 用紙は1枚だけセットしてください。複数枚セットすると、正常に印刷されないことがあります。

13 [実 行]を押します。

シールプリントが始まります。印刷が終了すると、シールプリントの完成画面に戻ります。

重要
- 印刷を中止するときは、[取消し]を押します。
- シールを一部分剥がしたシール紙を再度使用しないでください。正しく印刷できません。

14 印刷が終わったら、排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。

重要
- シールプリントで印刷できる写真は3M byte以下です。3M byteを超える写真は、デジタルカメラ側でリサイズ（大きさを変える）などを行うことにより、容量を3M byte以下にすると使用できるようになります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。
- シールのフレームと写真は、シール内に余白が入るのを防ぐために切り取り線よりもひと回り大きく印刷されます。写真の一部を切り抜いてシールを作成する場合は、やや大きめに切り抜くと、きれいに配置できます。

第 7 章

データを管理する

データのバックアップを作成する

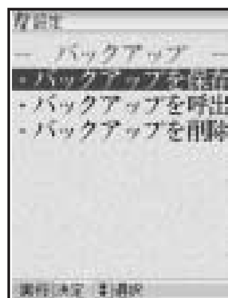
本体に登録した文面、住所録、差出人、外字、ユーザー辞書などのデータを、1つにまとめてメモリーカードに保存できます。万一、データが消失したときは保存しておいたデータを呼び出して、保存したときと同じ状態に戻すこともできます。
なお、バックアップデータとして「約105KBのデータ」をメモリーカードに保存します。

バックアップデータを保存する

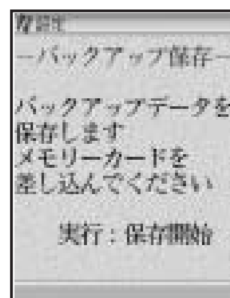
バックアップデータをメモリーカードに保存します。ご購入後メモリーカードを始めて使うときは、デジタルカメラで初期化した後お使いください。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実行を押します。

2 ∧∨で「バックアップ」を選び、実行を押します。



3 ∧∨で「バックアップを保存」を選び、実行を押します。



4 保存用のメモリーカードをセットします。

「メモリーカードをセットする」
▶▶ 21ページ

5 セットしたら、実行を押します。
保存が始まります。保存が終わると、確認のメッセージが表示され、メニュー画面に戻ります。

メモリーカードにバックアップデータが入っているときは

メモリーカードに、古いバックアップデータが入っているときは、確認のメッセージが表示されますので、＜＞で「はい」または「いいえ」を選び、実行を押してください。
はい：古いデータが削除されて、保存が始まります。
いいえ：保存をしないで、元の画面に戻ります。

バックアップデータを呼び出す

メモリーカードに保存したバックアップデータを呼び出して、使うことができます。
なお、このとき、現在本機で作成しているデータはすべて消えてしまいます。一度消えてしまったデータは元には戻りません。ご注意ください。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実 行を押します。

2 ∧∨で「バックアップ」を選び、実 行を押します。

3 ∧ ∨で「バックアップを呼出」を選び、実 行を押します。

4 バックアップデータが入っているメモリーカードをセットします。

5 セットしたら、実 行を押します。
呼び出しが始まります。呼び出しが終わると、確認のメッセージが表示され、メニュー画面に戻ります。

バックアップデータを削除する

メモリーカードに保存したバックアップデータを削除できます。
なお、削除したデータは元には戻りません。ご注意ください。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実 行を押します。

2 ∧∨で「バックアップ」を選び、実 行を押します。

3 ∧ ∨で「バックアップを削除」を選び、実 行を押します。

4 バックアップデータが入っているメモリーカードをセットします。

5 セットしたら、実 行を押します。
削除が始まります。削除が終わると、確認のメッセージが表示され、メニュー画面に戻ります。

よく使う語句を辞書に登録する(ユーザー辞書：語句)

日常よく使う専門用語などを「よみ」とともに登録しておくと、「よみ」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用句などを短い「よみ」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。
なお、工場出荷時にあらかじめ人名や地域名などが登録されています。このデータは、必要に応じて修正できます。

語句を登録する

1 △▽＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実行を押します。

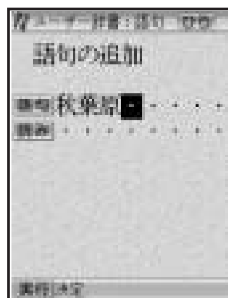
2 △▽で「ユーザー辞書」を選び、実行を押します。

3 △▽で「語句」を選び、実行を押します。
登録されている単語があるときは、一覧が表示されます。

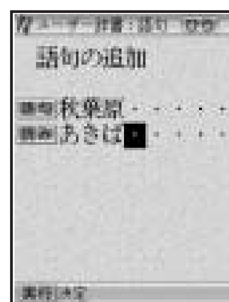
4 機能を押します。

5 △▽で「追加」を選び、実行を押します。

6 △▽で「語句」を選び、登録したい単語を入れます。
ここでは、「秋葉原」と入力します。



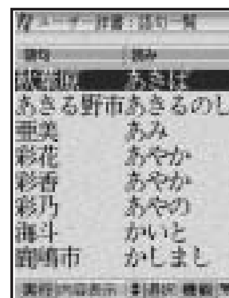
7 △▽で「読み」を選び、読みを入れます。



重要 「読み」を選ぶと、入力モードはひらがなになります。読みに入力できる文字は、ひらがなだけです。

8 語句と読みの入力が終わったら、実行を押します。
登録を確認するメッセージが表示されます。

9 ＜で「はい」を選び、実行を押します。
登録が終わり、語句の一覧に戻ります。追加した語句が一覧に表示されます。



語句は最大100件まで登録できます。

登録した語句を修正する

1 168ページの手順 1 から 3 の操作をします。

語句の一覧が表示されます。

2 ∧∨で修正する語句を選び、[実 行]を押します。

選んだ語句の登録内容が表示されます。

3 [機能]を押します。

4 ∧∨で「修正」を選び、[実 行]を押します。

5 ∧∨で「語句」を選び、語句を修正します。

6 ∧∨で「読み」を選び、読みを修正します。

重 要 「読み」を選ぶと、入力モードはひらがなになります。読みに入力できる文字は、ひらがなだけです。

7 語句と読みの入力が終わったら、[実 行]を押します。

修正を確認するメッセージが表示されます。

8 [<]で「はい」を選び、[実 行]を押します。

修正が終わり、語句の一覧に戻ります。

登録した語句を削除する

削除には、選んだ語句だけを削除するか、すべての語句を削除するかの2つの方法があります。

① **168ページの手順 1 から 3 の操作をします。**
語句の一覧が表示されます。選んだ語句だけを削除するときは②へ、すべての語句を削除するときは③へ進みます。

② **∧∨で削除したい語句を選び、［実 行］を押します。**
選んだ語句の登録内容が表示されます。

③ **［機能］を押します。**

④ **∧∨で「削除」を選び、［実 行］を押します。**
削除の方法を選ぶ画面が表示されます。

⑤ **∧∨で「1件だけ削除」または「全ての語句を削除」を選び、［実 行］を押します。**
削除を確認するメッセージが表示されます。
「1件だけ削除」を選んだときは、選んだ語句が表示されます。確認後、［実 行］を押してください。

⑥ **＜で「はい」を選び、［実 行］を押します。**
削除が終わり、語句の一覧に戻ります。

語句（ユーザー辞書）の登録件数を確認するには

① **168ページの手順 1 から 4 の操作をします。**
機能メニューが表示されます。

② **∧∨で「登録件数」を選び、［実 行］を押します。**
登録件数が表示されます。

ユーザー辞書を初期値（工場出荷時の状態）に戻す

重要 ユーザー辞書を初期値に戻すと、ご購入後に登録や修正した語句の内容が変更されてしまいます。必要のないときは行わないでください。

① **168ページの手順 1 から 4 の操作をします。**
機能メニューが表示されます。

② **∧∨で「初期値に戻す」を選び、［実 行］を押します。**
確認のメッセージが表示されます。

③ **＜で「はい」を選び、［実 行］を押します。**
ユーザー辞書の内容が初期値に戻り、語句の一覧に戻ります。

郵便番号と住所を辞書に登録する(ユーザー辞書：郵便番号)

郵便番号辞書に登録されている郵便番号や住所の変更が必要なときは、その郵便番号と住所をユーザー辞書に登録しておくと、郵便番号を入力するだけで呼び出すことができます。

郵便番号を辞書に登録する

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実行を押します。

2 ∧∨で「ユーザー辞書」を選び、実行を押します。

3 ∧∨で「郵便番号辞書」を選び、実行を押します。

登録されている郵便番号があるときは、一覧が表示されます。

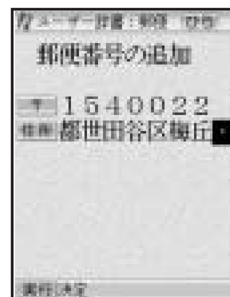
4 機能を押します。

5 ∧∨で「追加」を選び、実行を押します。

6 ∧∨で「〒」を選び、登録したい郵便番号を入れます。

ハイフンは省いて、7桁の数字だけ入力してください。

7 ∧∨で「住所」を選び、登録したい住所を入れます。



8 郵便番号と住所の入力が終わったら、実行を押します。

登録を確認するメッセージが表示されます。

9 ＜で「はい」を選び、実行を押します。

登録が終わり、郵便番号の一覧に戻ります。追加した郵便番号が一覧に表示されます。

郵便番号は最大30件まで登録できます。

登録した郵便番号や住所を修正する

① **171ページの手順 1 から 3 の操作をします。**
郵便番号の一覧が表示されます。

② **∧∨で修正したい郵便番号を選び、[実行]を押します。**
選んだ郵便番号の登録内容が表示されます。

③ **[機能]を押します。**

④ **∧∨で「修正」を選び、[実行]を押します。**

⑤ **∧∨で「〒」を選び、修正したい郵便番号を入力します。**

⑥ **∧∨で「住所」を選び、修正する住所を入れます。**

⑦ **郵便番号と住所の入力が終わったら、[実行]を押します。**
修正を確認するメッセージが表示されます。

⑧ **<で「はい」を選び、[実行]を押します。**
修正が終わり、郵便番号の一覧に戻ります。

登録した郵便番号を削除する

削除には、選んだ郵便番号だけを削除するか、すべての郵便番号を削除するかの2つの方法があります。

① **171ページの手順 1 から 3 の操作をします。**
郵便番号の一覧が表示されます。選んだ郵便番号だけを削除するときは②へ、すべての郵便番号を削除するときは③へ進みます。

② **∧∨で削除したい郵便番号を選び、[実行]を押します。**
選んだ郵便番号の登録内容が表示されます。

③ **[機能]を押します。**

④ **∧∨で「削除」を選び、[実行]を押します。**
削除の方法を選ぶ画面が表示されます。

⑤ **∧∨で「1件だけ削除」または「全ての番号を削除」を選び、[実行]を押します。**
「1件だけ削除」を選んだときは、選んだ郵便番号が表示されます。確認後、[実行]を押してください。
削除を確認するメッセージが表示されます。

⑥ **<で「はい」を選び、[実行]を押します。**
削除が終わり、郵便番号の一覧に戻ります。

郵便番号（ユーザー辞書）の登録件数を確認するには

① **171ページの手順 1 から 4 の操作をします。**
機能メニューが表示されます。

② **∧∨で「登録件数」を選び、[実行]を押します。**
登録件数が表示されます。

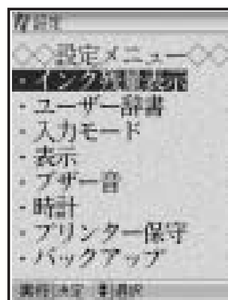
第 8 章

その他の設定

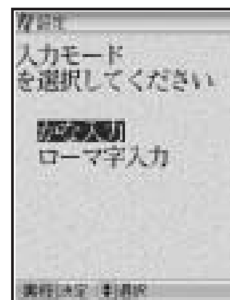
文字の入力方法(入力モード)を切り替える

文字入力には、ひらがなキーで入力する「かな入力」とアルファベットキーで入力する「ローマ字入力」があります。ここでは、入力モードを切り替える方法を説明します。

1 △▽＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実 行を押します。



2 △▽で「入力モード」を選び、実 行を押します。



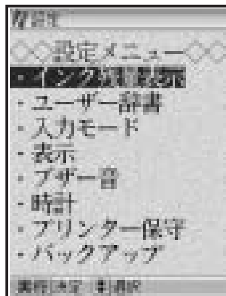
3 △ ▽で設定したい入力モードを選び、実 行を押します。

メニュー画面に戻ります。

画面の明るさを調節する

画面表示の明るさ(コントラスト)を変えることができます。

1 **∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実行を押します。**



2 **∧∨で「表示」を選び、実行を押します。**

3 **＜＞で明るさを調節します。**

青色の表示部分が多いほど、画面の表示が淡くなります。

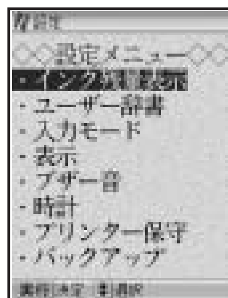
4 **調節が終わったら、実行を押します。**

メニュー画面に戻ります。

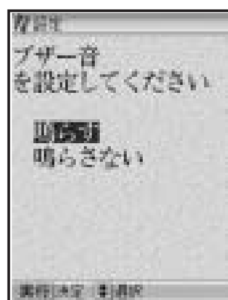
ブザー音を鳴らさないようにする

操作中にエラーが発生するとブザー音が鳴ります。お買い上げ時の設定は「鳴らす」になっています。
ここではブザー音を鳴らさないようにする方法を説明します。
ただし、プリンターエラーのブザー音は、設定の内容に関係なく、常に鳴ります。

1 ∧∨＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実行を押します。



2 ∧∨で「ブザー音」を選び、実行を押します。



3 ∧∨で「鳴らさない」を選び、実行を押します。

メニュー画面に戻ります。
鳴らすように戻したいときは、「鳴らす」を選んでください。

ブザー音を鳴らさないようにする

その他の設定

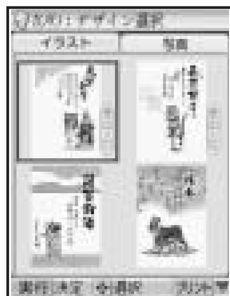
時計を設定する

時計の日付と時刻を設定します。時計には、設定した日付と時刻に連動して毎年4月1日00時00分になった時点で、カンタン作成で表示されるはがきのデザインを切り換える役割があります。

例 時計の年が2006に設定されているとき

・干支を使用しているデザイン

2006年
3月31日23時59分



戌年のデザイン

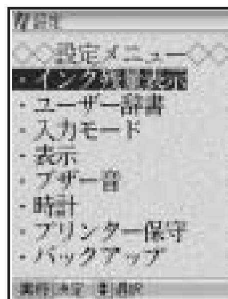


2006年
4月1日0時0分以降



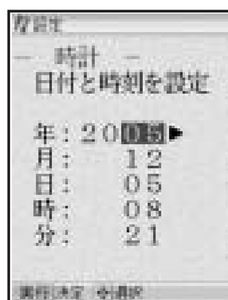
亥年のデザイン

1 △▽＜＞でメニュー画面から「設定」を選び、実 行を押します。



2 △▽で「時計」を選び、実 行を押します。

日付と時刻を設定する画面が表示されます。



3 △▽で設定する項目を選びます。

4 ＜＞で数値を設定します。

5 設定が終わったら、実 行を押します。

設定した内容で時計が設定され、メニュー画面に戻ります。

プリンターのメンテナンスをする

プリンターを調整する

「新しいプリントカートリッジを取り付けたとき」や「印刷結果の色がズレているとき」などに、印刷が正しくできるように調整します。

1 **[∧][∨][<][>]でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。**

2 **[∧][∨]で「プリンター保守」を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨]で「プリンターの調整」を選び、[実行]を押します。**
用紙セットのメッセージが表示されます。

4 **プリンター調整用の用紙をセットします。**
同梱のプリンター調整用用紙をすでに使い終わった場合には、不要になった官製はがきなど無地の用紙をお使いください。

5 **[実行]を押します。**
印刷が始まります。

6 **印刷結果を確認してください。**
緑色の「v」が印刷されていれば調整が正しく行われています。
赤色の「×」が印刷されているときは、もう一度、プリンターの調整を行ってください。再度、「×」が印刷された場合は、プリントカートリッジを交換してください。

プリントカートリッジをクリーニングする

インクの量は十分残っているのにきれいに印刷されないとき、印刷をしない状態が長期間続いたあとの「デジタルカメラの写真印刷」に白い線や縞模様が現れたときなどに行います。

1 **[∧][∨][<][>]でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。**

2 **[∧][∨]で「プリンター保守」を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨]で「クリーニング」を選び、[実行]を押します。**
ステップ1の用紙セットのメッセージが表示されます。

4 **プリンター調整用の用紙をセットします。**
同梱のプリンター調整用用紙をすでに使い終わった場合には、不要になった官製はがきなど無地の用紙をお使いください。

5 **[実行]を押します。**
印刷が始まります。印刷が終わるとステップ1の終了画面が表示されます。

6 **印刷の結果を確認して、問題がないときは、[取消し]を押します。**
メニュー画面に戻ります。

重要 印刷の結果に問題があるときは、[実行]を押すと、続けてステップ2、ステップ3のクリーニングができます。操作はステップ1と同じです。ステップ3のクリーニングをしても印刷の結果に問題があるときは、またステップ1から繰り返してクリーニングができます。

テスト印刷する

試しに印刷をして、印刷の結果を確認したいときに行います。

1 **[∧][∨][<][>]でメニュー画面から「設定」を選び、[実行]を押します。**

2 **[∧][∨]で「プリンター保守」を選び、[実行]を押します。**

3 **[∧][∨]で「テスト印刷」を選び、[実行]を押します。**

用紙セットのメッセージが表示されます。

4 **プリンター調整用の用紙をセットします。**

同梱のプリンター調整用用紙をすでに使い終わった場合には、不要になった官製はがきなど無地の用紙をお使いください。

5 **[実行]を押します。**

印刷が始まります。印刷が終わるとメニュー画面に戻ります。

6 **印刷の結果を確認します。**

第9章

こんなときは

こんな画面が出てきたら

操作中にいろいろなメッセージが表示されることがあります。表示されたメッセージに従って、[取消し]などを押して対処してください。ここでは、対処方法が複数あるメッセージなどのみ記載しています。

メッセージ	対処方法	参照ページ
メモリーカードエラー メモリーカードの内容が読めません きちんと差し込まれているか確認してください 取消し：エラー解除	[取消し]を押したあと、メモリーカードを正しくセットしてください。 撮影前に初期化(フォーマット)していないメモリーカードをセットしたときも、このメッセージが表示されます。この場合は、デジタルカメラなどで初期化したメモリーカードをセットしてください。	21
メモリーカードエラー 使用できる写真がありません 取消し：エラー解除	[取消し]を押したあと、本機で使用できる写真の入ったカードをセットしてください。	22
印刷データなし 印刷データがありません 作成してから印刷してください 取消し：エラー解除	[取消し]を押してください。本機では、DCFに準拠した写真データだけがインデックスプリントの対象になります。	22
印刷データエラー 印刷できない写真がありました 取消し：エラー解除	[取消し]を押したあと、印刷結果を確認してください。本機では、デジタルカメラで撮影した写真しか印刷できません。	22
印刷データエラー 使用できない形式の写真です 取消し：エラー解除	[取消し]を押したあと、本機で使用できる形式の写真を選んでください。	22
用紙エラー 用紙がつまっています 取り除いてから、実行を入力してください 実行	つまっている用紙を取り除いたあと、[実行]を押してください。	187
インク消耗 インクがなくなりました プリントカートリッジを交換してください はい　いいえ	「はい」を選んで[実行]を押したあと、新しいプリントカートリッジに交換してください。 お手元に新しいプリントカートリッジがない場合は「いいえ」を選んで[実行]を押してください。ただし、この状態のまま印刷を行っても、正しく印刷できません。	24
プリンターエラー ACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください	ACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。 約10秒後に、ACアダプターのプラグをコンセントに差し直して、電源を入れてください。 用紙がプリンター内に残っている場合は、用紙が自動的に排出されます。 上記の対処を行っても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書などに記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	17 18 19 217

メッセージ	対 処 方 法	参照ページ
メモリーデータ破壊 メモリー内のデータが 壊れました 住所録以外の全てのデータ を削除します はい　いいえ	「はい」を選んで 実 行 を押してください。 「いいえ」を選ぶと、電源をONするたびに、同じメッセージが表示されます。	−
メモリーリセット 全てのデータが削除され、 なくなります 消えたデータは元には 戻りません はい　いいえ	リセットを行うときは、「はい」を選んで 実 行 を押してください。 リセットを中止するときは、「いいえ」を選んで 実 行 を押してください。	188

「故障かな？」と思ったときは

ON/OFFを押しても何も表示されない…
◎表示画面の明るさは適切ですか？ →コントラストを調整してください(175ページ参照)。
◎ACアダプターはきちんと接続されていますか？ →ACアダプターのプラグを、コンセントへしっかりと差し込んでください。
はがきが挿入口に入らない…
◎用紙ガイドが用紙のサイズに合っていますか？ →挿入口のガイドをスライドさせて用紙のサイズに合わせてください(26ページ参照)。
印刷時に用紙が送られない…
◎用紙はセットされていますか？ →用紙を奥まで確実にセットしてください(26ページ参照)。
◎正しい種類の用紙が使われていますか？ →印刷に適した用紙を使用してください(25ページ参照)。
◎セットされている用紙が多すぎませんか？ →セットできる枚数は、官製はがきの厚さの場合で20枚までです。
何も印刷されない…
◎プリントカートリッジは正しくセットされていますか？ →プリントカートリッジを正しくセットしてください(23ページ参照)。
きれいに印刷されない…
◎特殊な紙でつくられた用紙を使用していませんか？ →「一般の官製ハガキにくらべて、表面が極端にザラザラしたもの」や「凹凸の激しい用紙」は使えませんのでご注意ください。
◎印刷設定(用紙サイズ、紙質、印字タイプなど)は適正ですか？ →印刷設定を正しく設定してください(96、116、134、150、153、156、160ページ参照)。
◎ゴムローラーにゴミや異物が付着していませんか？ →ゴムローラーに付着しているゴミや異物を市販のセロハンテープなどで取り除いてください。
◎インクがなくなっていませんか？ →新しいプリントカートリッジと交換してください(24ページ参照)。
◎プリントカートリッジは正しくセットされていますか？ →プリントカートリッジを正しくセットしてください(23ページ参照)。
◎プリントカートリッジが目詰まりしていませんか？ →プリントカートリッジをクリーニングしてください(179ページ参照)。
◎プリンターの調整は適正ですか？ →プリンターの調整を行ってください(179ページ参照)。
◎プリントカートリッジを高温の状況で長期間保管しませんでしたか？ →「テスト印刷」で、数枚の印刷を行って、改善されるか確認してください(180ページ)

◎プリントカートリッジの使用期限が過ぎていませんか？ →プリントカートリッジの使用期限を確認して、期限が過ぎているときは、新しいプリントカートリッジと交換してください(24ページ参照)。
※上記の対応を行ってもきれいに印刷されない場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に修理をご依頼ください。
プリントカートリッジをセットしても「カートリッジエラー」のメッセージが表示される
◎プリントカートリッジが奥まで正しくセットされていますか？ →「カチッ」と音がするまで正しくセットしてください(23ページ参照)。
◎プリントカートリッジの金属部に貼り付けられている保護テープをはがしましたか？ →保護テープをはがしてセットしてください(23ページ参照)。
◎プリントカートリッジ金属端子部または本機のカートリッジ挿入部が汚れていたり、ゴミや異物が付着していませんか？ →「お手入れの方法(189ページ)」を参考にして、クリーニングしてください。
◎指定以外のプリントカートリッジを使用していませんか？ →指定のプリントカートリッジhp#134(C9363H)またはhp#135(C8766H)を使用してください。
◎プリントカートリッジが破損していませんか？ →新しいプリントカートリッジと交換してください。
◎プリントカートリッジの使用期限が過ぎていませんか？ →プリントカートリッジの使用期限を確認して、期限が過ぎているときは、新しいプリントカートリッジと交換してください(24ページ参照)。
郵便番号の記入枠の中に印刷される郵便番号の位置がずれている(宛名印刷時)…
◎用紙が正しくセットされていますか？ →用紙を正しくセットしてください(26ページ参照)。
◎印刷位置の調整をしましたか？ →印刷の上下左右位置を調整してみてください(103ページ参照)。
◎はがきの種類を正しく設定しましたか？ →「年賀はがき」「普通はがき」など、はがきによって差出人の郵便番号位置が異なるため、印刷したいはがきに合わせて設定を変えてください(96ページ)。
宛先の住所が希望通りの位置に印刷できない(宛名印刷時)…
◎上下位置の調整をしましたか？ →1行ごとに「上(左)寄せ」「下(右)寄せ」の指定をしてみてください(105ページ参照)。
差出人の住所や氏名を文面に印刷したいができない(文面印刷時)…
◎正しいデザインやフォーマットを選びましたか？ →カンタン作成時…「差出人可」のデザインを選んでください(114ページ参照)。 組み合わせ作成・オリジナルはがき作成時…差出人付きのフォーマットを選んでください(124、136ページ参照)。

印刷できる用紙が分からない…
●印刷に適しているもの ・官製はがき ・官製はがきと同等の用紙（厚さが0.18〜0.26mmのもの） ・本機指定の別売品の用紙 ・インクジェット紙 ・フォト光沢紙 ・普通紙 ●印刷に適さないもの（できないもの） ・封筒 ・往復はがき ・表面が凸凹やザラザラのもの ・フォト光沢紙以外で表面がツルツルのもの ・折れ曲がったり、反りの激しいもの ・一般の官製はがきにくらべて、極端に厚い紙や薄い紙、腰の強い用紙 ・樹脂シートなどのインクを吸収しないもの
一度に印刷できる枚数が分からない…
本機の用紙挿入口に一度にセットできるのは、官製はがきの厚さの場合で「20枚まで」です。 なお、印刷枚数については「99枚」まで設定できます。上記の枚数以上設定した場合は、 何回かに分けて、印刷を行ってください。 ※用紙どうしが静電気などの影響で貼り付きやすい場合は、１枚ずつ印刷してください。 ※「シールプリントの用紙（16面分割光沢フォトシール用紙）」と「インクジェット紙光沢年賀郵便はがき」は、1枚ずつセットしてください。 ※フォト光沢はがきは、印刷時に、用紙どうしが貼り付きやすい場合、1枚ずつセットしてください。
1個のプリントカートリッジで印刷できる枚数が分からない…
→本機に付属のプリントカートリッジで印刷できる枚数の目安は、下記の通りです（詳細は211ページ参照）。 ・はがき印刷：約240枚 ・写真印刷：約200枚 印刷する内容によって、印刷できる枚数は異なります。
用紙が詰まった…
→詰まっている用紙を手前側に引っ張って取り除いた後、［実行］を押します。（詳細は187ページ参照）

用紙がつまったときは

●用紙排出口から用紙が見えている

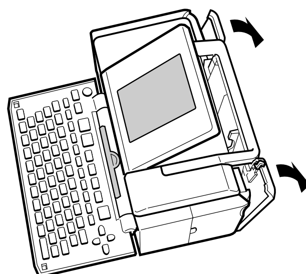
つまっている用紙を、ゆっくりと手前に引っ張って取り除きます。

●用紙排出口から用紙が見えていない場合

つまっている用紙を、用紙挿入口から上側にゆっくりと引っ張って取り除きます。

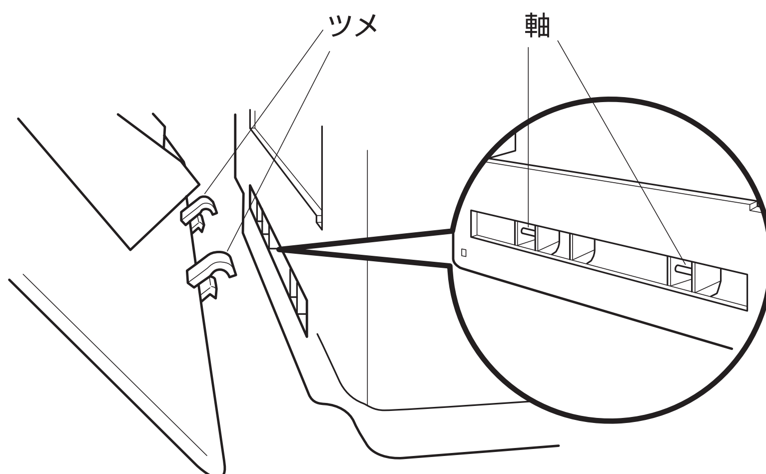
●つまった用紙が取り出しにくい場合

給紙トレイを矢印方向に押してトレイを開き、つまっている用紙を取り除いてください。再度印刷する場合は、給紙トレイを元の位置まで戻してください。



■給紙トレイが外れてしまったら

給紙トレイが外れてしまったときは、図のツメの部分を軸に入れて再セットしてください。
給紙トレイを無理な方向に曲げたりねじったりすると、ツメや軸が破損する恐れがあります。



リセット(初期化)するときは

静電気の影響などにより、本機の動きがおかしくなったり、操作を受け付けなくなったりしたときは、リセット(初期化)を行ってください。

重要 リセット（初期化）を行うと、ご購入後に登録したデータがすべて消えたり、設定がお買い上げ時のものに戻ってしまいます。必要のないときは、絶対に行わないでください。

1 **電源が切れている状態で [プレビュー/プリント] [実行] [∧]をいっしょに押しながら、(ON/OFF)を押します。**

リセット確認画面が表示されるまで、[プレビュー/プリント] [実行] [∧]は離さないでください。



2 **[＜]で「はい」を選び、[実行]を押します。**

「いいえ」を選ぶと、リセットせずにメニュー画面に戻ります。

3 **時計を合わせます。**

4 **設定が終わったら[実行]を押します。**

5 **入力モードを選んで、[実行]を押します。**

6 **表示コントラストを調整して、[実行]を押します。**

リセットが完了し、メニュー画面が表示されます。

お手入れの方法

プリンター・プリントカートリッジのクリーニング

プリントカートリッジやプリンターの端子部が汚れていると、きれいに印刷できません。この場合は、次の手順に従って、きれいにしてください。

準備するもの

ミネラルウォーター　ガーゼ　綿棒　はさみ

ご注意

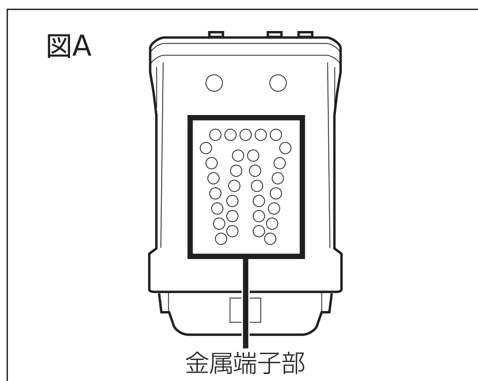
- このクリーニングは、「台所のステンレス流し台」のような「静電気が発生せず、なおかつ静電気が逃げる場所」で、「インクがこぼれても支障のない状態」で行ってください。
- プリントカートリッジのノズルや電極部分に直接手を触れないようにご注意ください。
- 各金属端子部の清掃にはミネラルウォーターをご使用になることをお勧めします。
  水道水は、塩素などを含んでいるために腐食などを起こしやすいので注意してください。

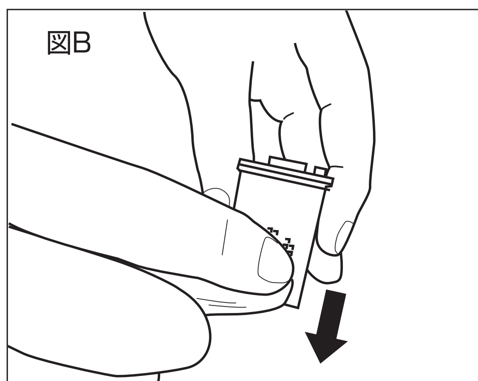
1 クリーニングの準備

- 本機の電源を切り、ACアダプターを抜いてください。
- 各金属端子部を拭くためのガーゼを用意します。
  ① 約10ｃｍ四方の大きさに切ったガーゼを2～4枚用意します。
  ② 用意したガーゼのうちの2枚を重ねて、ミネラルウォーターを含ませて軽く絞ります。
  ③ 綿棒に巻きつけます。

2 プリントカートリッジ金属端子部のクリーニング

① プリントカートリッジ収納部カバーを開けて、プリントカートリッジを取り出します。
② 金属端子部の保護テープがはがされていることを確認します。
③ 図A・図Bのように、金属端子部を「ミネラルウォーターを含ませて綿棒に巻きつけたガーゼ」で、矢印方向に拭いてください。
④ インクがつかなくなったら、金属端子部を乾いたガーゼで拭いて完全に乾燥させてください。

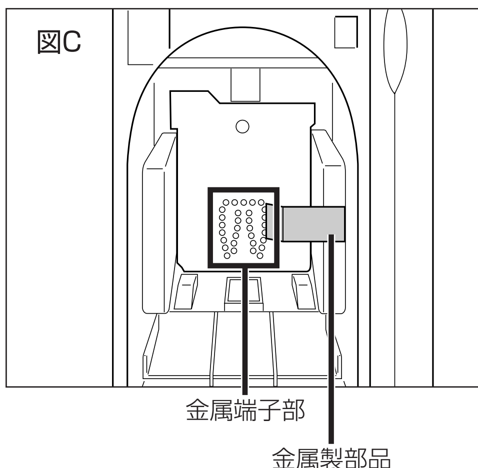


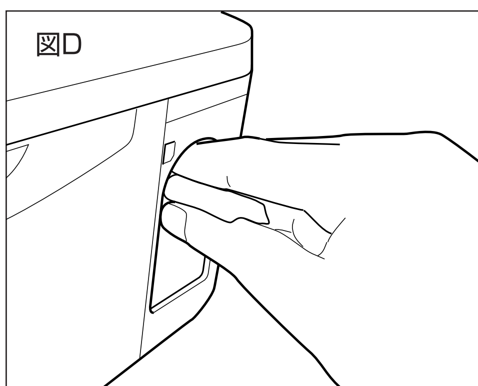


3 プリンター金属端子部のクリーニング

① 図C・図Dのように、プリントカートリッジ収納部内の金属端子部を「ミネラルウォーターを含ませて綿棒に巻きつけたガーゼ」で拭いてください。
金属端子部付近には、金属製部品があります。手を切らないようにご注意ください。

② インクがつかなくなったら、金属端子部を乾いたガーゼで拭いて完全に乾燥させてください。





4 印刷状態の確認

① ACアダプターを接続して、電源キーを押して電源を入れます。

② プリントカートリッジをセットして、印刷が正常にできるか確認してください。

本体のクリーニング

本機のプリンターは、インクジェット方式です。印刷していると、プリントカートリッジ収納部周辺や本体にインクが付着する場合があります。この場合は、水を浸して固く絞ったガーゼなどで拭き取ってください。
本体を傷つけるので、ベンジンやアルコールなど揮発性のものは使用しないでください。

第 10 章

資料集

記号一覧

記　号

●記述・カッコ

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”

（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】ゎゐゑヮヰヱ

●学術

＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀∠⊥⌒∂▽

≡≒≪≫√∽∝∵∫∬∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨

￢⇒⇔∀∃

●単位・略

°′″℃￥＄¢£€％Å‰㌘㎡m³ℓ㏋℧Hz㍉

㌢㍍㌔㌖㌘㌕㌧㌦〒〠☎TEL FAX No. K.K. ㈱㈲㈹㈹㈴㈲㈾㈺

㈶㈵㈻㈮㊟㊭㊞㊙㊕㊯㍾㍽㍼㍻'01'02'03'04'05'06

'07'08'09'10'11'12'13'14'15'16'17'18'19'20

●一般

＃＆＊＠§※＝♯♭♪†‡¶◯→←↑↓☆★

○●◎◇◆□■△▲▽▼♠♤♥♡♣♧♦◇

記　号

●数字

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳

Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ½ ¼ ¾ 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

●ギリシア・ロシア

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ

Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π

ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К

Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю

Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с

т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

●入れにくい文字

々 あ い う え お っ や ゆ よ わ ゐ

ゑ を ぢ づ ゝ ゞ ァ ィ ゥ ェ ォ ッ

ャ ュ ョ ヵ ヶ ヮ ヰ ヱ ヲ ヴ ヂ ヅ

ヽ ヾ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

百 千

●JIS外の漢字

㐂丬伃侮併僧免兼冝冬勉勝
勤半卑即厩吉啄嘆噌器土圳
埇塚增墨寬層奇嵓﨑嵭巢巽
廊廣弱強徵德徽悔惠慧憎懲
揭揥擊敎敏晚昪暑曆曙眷朗
栁桒梅棚楡楢櫸榊槁槗槁樋
橫樽橳榆欄𣗳步歷穀每海涉
淚渴渚溫漢潤濱瀞瀨煮狀犾
猪琢甑產畫碑碕祁社祈祇祉
祝神祐祖祥福禍禎穝突節箞
綠緣緖練繁署羽者臭萊葛葛
著蓬蓮薭薩薰藤虛虜蠟視角
謁諸謹賓贈邉邊辻逸郞都鄧
醬醱鉄錄鍊隆難靈霳霄靑響
賴類食飫飴餠馞驛髙魵鯖鰀
鱒鴿䳟鵰鷗麹麵麻黃黑彌

ローマ字入力対応表

あ 行	あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ
	A		I		U		E		O	
か 行	か	カ	き	キ	く	ク	け	ケ	こ	コ
	KA CA		KI		KU CU QU		KE		KO CO	
が 行	が	ガ	ぎ	ギ	ぐ	グ	げ	ゲ	ご	ゴ
	GA		GI		GU		GE		GO	
さ 行	さ	サ	し	シ	す	ス	せ	セ	そ	ソ
	SA		SI SHI		SU		SE		SO	
ざ 行	ざ	ザ	じ	ジ	ず	ズ	ぜ	ゼ	ぞ	ゾ
	ZA		ZI JI		ZU		ZE		ZO	
た 行	た	タ	ち	チ	つ	ツ	て	テ	と	ト
	TA		TI CHI		TU TSU		TE		TO	
だ 行	だ	ダ	ぢ	ヂ	づ	ヅ	で	デ	ど	ド
	DA		DI		DU		DE		DO	
な 行	な	ナ	に	ニ	ぬ	ヌ	ね	ネ	の	ノ
	NA		NI		NU		NE		NO	
は 行	は	ハ	ひ	ヒ	ふ	フ	へ	ヘ	ほ	ホ
	HA		HI		HU FU		HE		HO	
ば 行	ば	バ	び	ビ	ぶ	ブ	べ	ベ	ぼ	ボ
	BA		BI		BU		BE		BO	
ぱ 行	ぱ	パ	ぴ	ピ	ぷ	プ	ぺ	ペ	ぽ	ポ
	PA		PI		PU		PE		PO	
ま 行	ま	マ	み	ミ	む	ム	め	メ	も	モ
	MA		MI		MU		ME		MO	
や 行	や	ヤ			ゆ	ユ	いぇ	イェ	よ	ヨ
	YA				YU		YE		YO	
ら 行	ら	ラ	り	リ	る	ル	れ	レ	ろ	ロ
	RA LA		RI LI		RU LU		RE LE		RO LO	

わ 行	わ	ワ	ゐ	ヰ	う	ウ	ゑ	ヱ	を	ヲ
	WA		WI		WU		WE		WO	
ん 行	ん	ン								
	NN，N+子音 MP＋母音 MB＋母音									

きゃ行	きゃ	キャ	きぃ	キィ	きゅ	キュ	きぇ	キェ	きょ	キョ
	KYA		KYI		KYU		KYE		KYO	
ぎゃ行	ぎゃ	ギャ	ぎぃ	ギィ	ぎゅ	ギュ	ぎぇ	ギェ	ぎょ	ギョ
	GYA		GYI		GYU		GYE		GYO	
くぁ行	くぁ	クァ	くぃ	クィ			くぇ	クェ	くぉ	クォ
	QA		QI				QE		QO	
くゎ行	くゎ	クヮ	くぃ	クィ	くぅ	クゥ	くぇ	クェ	くぉ	クォ
	KWA QWA		KWI		KWU		KWE		KWO	
ぐゎ行	ぐゎ	グヮ	ぐぃ	グィ	ぐぅ	グゥ	ぐぇ	グェ	ぐぉ	グォ
	GWA		GWI		GWU		GWE		GWO	
しゃ行	しゃ	シャ			しゅ	シュ	しぇ	シェ	しょ	ショ
	SYA SHA				SYU SHU		SYE SHE		SYO SHO	
じゃ行	じゃ	ジャ	じぃ	ジィ	じゅ	ジュ	じぇ	ジェ	じょ	ジョ
	ZYA JA JYA		ZYI JYI		ZYU JU JYU		ZYE JE JYE		ZYO JO JYO	
ちゃ行	ちゃ	チャ	ちぃ	チィ	ちゅ	チュ	ちぇ	チェ	ちょ	チョ
	TYA CYA CHA		TYI CYI		TYU CYU CHU		TYE CYE CHE		TYO CYO CHO	
ぢゃ行	ぢゃ	ヂャ	ぢぃ	ヂィ	ぢゅ	ヂュ	ぢぇ	ヂェ	ぢょ	ヂョ
	DYA		DYI		DYU		DYE		DYO	
つぁ行	つぁ	ツァ	つぃ	ツィ			つぇ	ツェ	つぉ	ツォ
	TSA		TSI				TSE		TSO	
てゃ行	てゃ	テャ	てぃ	ティ	てゅ	テュ	てぇ	テェ	てょ	テョ
	THA		THI		THU		THE		THO	
でゃ行	でゃ	デャ	でぃ	ディ	でゅ	デュ	でぇ	デェ	でょ	デョ
	DHA		DHI		DHU		DHE		DHO	
とぅ					とぅ	トゥ				
					TWU					

どぅ					どぅ	ドゥ				
					DWU					
にゃ行	にゃ	ニャ	にぃ	ニィ	にゅ	ニュ	にぇ	ニェ	にょ	ニョ
	NYA		NYI		NYU		NYE		NYO	
ひゃ行	ひゃ	ヒャ	ひぃ	ヒィ	ひゅ	ヒュ	ひぇ	ヒェ	ひょ	ヒョ
	HYA		HYI		HYU		HYE		HYO	
びゃ行	びゃ	ビャ	びぃ	ビィ	びゅ	ビュ	びぇ	ビェ	びょ	ビョ
	BYA		BYI		BYU		BYE		BYO	
ぴゃ行	ぴゃ	ピャ	ぴぃ	ピィ	ぴゅ	ピュ	ぴぇ	ピェ	ぴょ	ピョ
	PYA		PYI		PYU		PYE		PYO	
ふぁ行	ふぁ	ファ	ふぃ	フィ			ふぇ	フェ	ふぉ	フォ
	FA		FI				FE		FO	
ふゃ行	ふゃ	フャ	ふぃ	フィ	ふゅ	フュ	ふぇ	フェ	ふょ	フョ
	FYA		FYI		FYU		FYE		FYO	
ぶゃ行	ぶゃ	ブャ	ぶぃ	ブィ	ぶゅ	ブュ	ぶぇ	ブェ	ぶょ	ブョ
	VYA		VYI		VYU		VYE		VYO	
みゃ行	みゃ	ミャ	みぃ	ミィ	みゅ	ミュ	みぇ	ミェ	みょ	ミョ
	MYA		MYI		MYU		MYE		MYO	
りゃ行	りゃ	リャ	りぃ	リィ	りゅ	リュ	りぇ	リェ	りょ	リョ
	RYA LYA		RYI LYI		RYU LYU		RYE LYE		RYO LYO	
ヴァ行	ヴァ		ヴィ		ヴ		ヴェ		ヴォ	
	VA		VI		VU		VE		VO	

ローマ字小文字入力

あ	ア	い	イ	う	ウ	え	エ	お	オ	っ	ッ
XA シフトかな小+A		XI シフトかな小+I		XU シフトかな小+U		XE シフトかな小+E		XO シフトかな小+O		XTU、XTSU、LTU Tシフトかな小U TSシフトかな小U	
ゃ	ャ	ゅ	ュ	ょ	ョ	ゎ	ヮ	ヵ		ヶ	
XYA Yシフトかな小A		XYU Yシフトかな小U		XYO Yシフトかな小O		XWA Wシフトかな小A		XKA Kシフトかな小A		XKE Kシフトかな小E	

※N以外の子音を2度入力しても「っ」や「ッ」になります。

ローマ字入力対応表

資料集